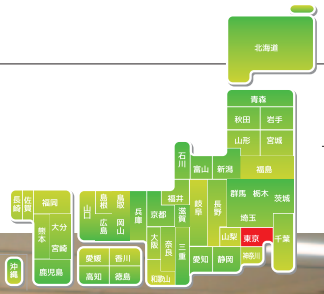

森の安全を考える会

森づくり活動は「安全・安心」

森の安全を考える会は、平成16年に発足した森林ボランティア団体。東京都西多摩の活動フィールドで森林整備を行っているほか、全ての森林ボランティアが安心して活動を行えるよう、講習会やイベントの開催を実施しています。

森林ボランティアみんなで考える安全活動ワークショップ

四季を通じて親しまれている御岳山が活動の場

森の安全を考える会の活動フィールドは東京都青梅市にある御岳山（みたけさん）の麓、湧水の豊かな私有林です。御岳山は、秩父多摩甲斐国立公園の表玄関にそびえる標高929mの山。周辺は野鳥・昆虫・植物の宝庫として知られ、四季を通じて自然を満喫できる山として広く親しまれています。

安全な森林保全活動をめざして

平成16年に、東京都府中青年の家閉所記念プロジェクト「森づくりグループ安全白書作成委員会」のメンバーが中心となって設立された会の活動目的は、安心して参加できる森林ボランティア団体の育成。そのため、植林や林道づくり等の森林整備活動に加え、森林内

森の安全を考える会の行っている講習会・イベント等

ワークショップ

森づくり活動は、常に危険と隣り合わせ。自主活動やイベントの時、不意に襲ってくる危険への対応は、森林ボランティア団体やリーダーの活動に大きな影響を与えることがあります。このため、森林ボランティアリーダとしてのスキルアップワークショップのほかに、独自の危険予知トレーニングやトークセッションによって、森林ボランティア活動のリスクアセスメントを行うためのワークショップを開催しています。

上級救命講習（応急処置技能認定講習）

応急救護・心肺蘇生法や応急救命に必要な知識・技術の習得を目的として、消防本部の定める上級救命講習を行うと共に、地元の消防署と連携し、山岳救助隊が救助活動の中で培った知識を共有していただく場として、毎年開催しています。

ハチ対策講座2009

ハチによる刺傷事故を少しでも減らすため、スズメバチ・アシナガバチの専門家によるハチ対策講座。ハチの生活史や習性、なぜ刺すのかの講義と、刺されてしまった場合の応急手当の指導をシミュレーション形式で行っています。

応急救護講習会

活動の中でケガをした仲間を、素早く止血し、安全かつ負担少なく搬送する方法を学ぶ講座です。

ハチ対策講座2009 リーフレット

森の安全を考える会

●**会員数**（平成25年４月現在）
・運営スタッフ：６名　・登録者数：143名
●**活動フィールド**
澤乃井御岳フィールド（東京都青梅市御岳）
●**活動日**
偶数月の第一日曜日および不定期の講習会開催
●**ホームページ**
http://www.morinoanzen.com/
●**ブログ**
http://blog.canpan.info/morinoanzen/
●**Facebook**
http://www.facebook.com/morinoanzen
●**Twitter**
http://twitter.com/morinoanzen
●**連絡先メールアドレス**
info@morinoanzen.com

心肺蘇生法の実習

林道づくり作業

搬送法の実習風景

植林風景

での安全活動を習得することで、活動の安全を確保することはもちろん、より高い技術をもった活動の喜びを感じてもらうことを狙いとした活動を行っています。その目標は、①応急救護の修得、②心肺蘇生法の修得、③応急救護に必要な医学の基礎知識の習得、④ボランティア活動におけるリスク認知力の向上の４つ。

具体的には、これから森林ボランティアへ参加しようと考えている人や、これまでの森林ボランティア活動に安心して参加できていないと思っている人を対象に、森林内での作業活動を習得してもらうとともに、安心して活動を行えるようにケガ・事故を起こさないための道具の安全な使い方、作業現場における注意点、団体活動のマネジメント方法、応急救護方法、保険とケガ・事故が起きてしまった時の対処方法に関する研究・講習会やイベント開催を行っています。

豊富な「安全」のためのプログラム

より安全で安心できる森林ボランティア活動を広めていくため、偶数月定例の森林整備活動では、作業に加えて意識のない人の搬送法や止血・包帯法の実習、熱射病・脱水症といった環境要因への注意、ツタウルシやダニ等の危険な動植物への対処等、季節や状況にあわせた豊富な安全のためのプログラムが実施されています。実習にはクイズ形式を取り入れる等の工夫も加えられ、森の安全を考える会の会員がこれまでの森林ボランティア活動を通して学んできた知識と技術を実習の参加者に効果的に伝えていくことができる内容となっています。

また、手ノコやカマを用いた森林作業の基礎を学び、道具の危険な操作方法と安全な操作方法を実際の森林作業の中で体験し、習得する「イチから始める森林ボランティア講座」や、地元消防署と連携した「森林ボランティア救命講習会」等、森林内でのあらゆる活動を想定した講習会も実施されています。

ボランティア活動に「安全」を組み込むために

森の安全を考える会の行う安全対策に関する講習会は、大切な仲間を危険から守るため、毎日のボランティア活動に安全を組み入れることを考慮して実施されています。

その代表的な講習会が「ハチ対策講座」。ハチによる刺傷被害が出る時期にあわせ、ハチの習性や刺されないようにするための方法、刺された場合の対処について、座学とフィールドでの模擬実習を取り入れた実践的な内容で、平成21年から毎年開かれています。

本来は森の安全を考える会が活動する東京都西多摩地区に対応したハチ対策講座ですが、全国のハチ被害に悩まされている団体のため、地域にあわせた資料作成も行っています。森の安全を考える会の事務局では、ハチ対策講座開催に興味のある団体は一度相談してほしいと呼びかけています。